

様式第7号（第21条関係）

AAR発番 26057号

令和8年6月15日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都品川区上大崎2丁目12番2号 ミズホビル7階

団 体 名 特定非営利活動法人 難民を助ける会

代表者職・氏名 理事長 堀江 良彰

電 話 番 号 03-5423-4511

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による

寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 難民を助ける会
- 2 事業実施期間 : 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

県内の小・中学校、児童クラブや子どもの居場所等、県民が関与する教育機関等において、グローバル人材育成の観点から、国際社会の課題（難民・国内避難民、地雷・不発弾、感染症、障がい者支援、災害支援等のグローバル・イシュー）について出前講座および活動報告会を開催する。併せて、広く一般市民を対象にしたイベントに出展し、当会の支援事業内容等を知ってもらうことで、共生社会の醸成を図る。

また、支援事業として、国内外での難民支援や感染症対策、災害支援等に関連した業務を行う。特に、県内の難民支援として実施する、母国で安全な生活を送れない人が佐賀県内に一時滞在するための環境整備は、県民含め誰もが住みやすい社会を形成することにつながる。また、災害対応やそのための準備を進めることによって、佐賀県民の減災・防災力を高めることになる。さらに、海外での支援事業は、上記の国際理解教育において現代のグローバル・イシューを扱うために重要なテーマになり、学習者の当事者性を高めることができる。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようなつながったのか

約2,000名を超える一般市民・児童・生徒に、国際社会の諸課題（紛争、難民問題、地雷問題、感染症対策、水・衛生対策、災害被災者支援等）について、現状と課題を理解し考える機会を提供できた。グローバル人材としての成長を目指す動機付けとなった。

県民の間で異文化に対する理解が向上し、国際感覚が醸成されることで、県内における多文化共生社会の担い手の育成に寄与できた。

ウクライナ国外に退避せざるを得ない人々が、佐賀県を拠点に安心して暮らせるよう、佐賀県庁をはじめ行政機関や多様なCSOと協力し、体制を整備した。引き続き、避難者と県民とが共生していく社会の実現を目指す。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

アフガニスタンのロガール州ブリ・アラム郡ベダク村において、イギリスのNGOであるヘイロー・トラストと連携し、戦闘のあった地域にて地雷除去を行い、人々の安全を守り、安心して暮らせる生活環境を整えた。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 (①目的②対象者③実施内容)	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
①出前講座及び講演	①グローバル人材育成 ②児童・学生（のべ人数1252名） ③国際社会の課題について出前講座および活動報告会を開催		1,930,861	573,687
	③高校生探究学習伴走	①6/12・9/11・11/20・2/19 ②伊万里市 伊万里高等学校		
	③絵本 「地雷ではなく花をください」 おはなし会	①7/23 ②福岡県大川市 宮前小学童 ①7/28 ②佐賀市 神野小学童 ①8/4 ②福岡県大川市大野島小学童 ①8/21 ②福岡県大川市道海島小学童 ①12/26 ②佐賀市 高木瀬小学童		
	③中学生職場体験受け入れ （城西中学校2年生）	①8/26～27 ②佐賀市 佐賀事務所・佐賀県庁		
	③授業「国際看護」一部担当	①9/18・10/9・10/23 ②武雄看護リハビリテーション学校		
	③人権・同和教育講演会 一人ひとりの人権が守られる社会へ ～世界の現状と国際協力～	①11/10 ②佐賀市 佐賀西高等学校		
	③グローバル人材育成事業 難民問題について知ろう ～私にできることは何？～	①11/13 ②有田町 有田小学校		
②イベント出展等	①共生社会の醸成 ②一般市民（のべ人数約860名） ③イベント出展や、ラジオやテレビ等のメディア出演・寄稿等で活動内容を知ってもらう		4,064,901	1,000,000
	③トークイベント ノー・アザー・ランド上映記念 「アラブの春」から14年～シリアの 現状と故郷を追われた人々の今	①4/13 ②佐賀市 シアター・シエマ		
	③佐賀県国際交流協会主催 国際交流イベント 「スオスダイ カンボジア」共催	①6/15 ②佐賀市 佐賀県国際交流協会		
	③チャリティグッズ販売 イベント内 ブース出展	①9/28 ②福岡県福岡市 マリンメッセ福岡		
	③写真巡回展 AAR Japanの活動地域で生きる子どもたち	①10/15～2026/3/19 ②佐賀東信用組合 各支店 佐賀市（本店・諸富支店） 鳥栖市（鳥栖支店） 神埼市（神埼支店） 小城市（小城支店） ①11/17～2026/2/10 ②佐賀市 商業・公共サービス複合施設「エス プラッツ」ロビー		
	③2025SPIRAさが国際フェスタ （メインイベントへのブース出展）	①10/5 ②嬉野市 うれしのまるく（嬉野駅前 広場）		
	③2025SPIRAさが国際フェスタ （パネル展示 「その一歩に、希望を」）	①10/10～20②市民活動プラザ1階廊 下		
	③インターナショナルバルーン フェスタ （JICA佐賀とブース出展）	①10/30～11/3 ②インターナショナルバルーンフェ スタ会場内 くつろぎ広場		

		③パネル展示&チャリティグッズ販売会 今も続く支援の現場から あなたと紡ぐ希望のストーリー	①1/26～1/30②佐賀県庁		
③災害支援等	①災害に対する準備 ②佐賀県における被災者 （災害がなかったため対象者無） ③佐賀災害プラットフォームへの参加		①月に一度 ②月例情報共有会議議事録確認	0	0
④ウクライナ避難 民受入	①佐賀県に滞在するウクライナ避難民 の支援 ②ウクライナ避難民約10名 ③佐賀ウクライナひまわりプロジェク トへの参加		①月例情報共有会議への参加 ②佐賀市	21,400	20,000
⑤海外での支援業 務	①アフガニスタンの戦争残存爆発物に よって汚染された土地における除去活 動により、地域住民が生活するうえでの 安全を向上させる ②地雷除去を行った地域住民140名 ③HALOトラストを通じて地雷除去活動 を実施		①2025年8月～2025年11月 ②アフガニスタン （ロガール州ブリ・アラム郡ベダク 村）	6,809,675	2,500,000
計				12,826,837	4,093,687

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位:円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位:円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		6,852,785
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	6,852,785
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	6,852,785
	前年度控除額(県事務経費)還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		6,852,785
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	4,093,687
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	2,759,098
	返礼品等の調達に係る費用	1,790,071
	返礼品等の送付に係る費用	343,654
	広報に係る費用	310,190
	事務に係る費用	315,183

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

https://aarjapan.gr.jp/about/#s_3